

## いやなみらいをけせるけしゴム

岐阜県立岐阜工業高等学校 化学研究部

平成 29 年 8 月の大会ではお世話になりました。新たな連携など得るものがたくさんありました。大会以降のおもな出来事を参加した生徒から紹介します。

- ・東日本大震災被災地訪問（大会に参加した 3 年生）

今年も 8 月 23 日～27 日、岩手県大槌町から海岸沿いに宮城県南三陸町まで訪問してきました。部としては今回で 7 回目で、私は 3 回目です。大槌町では大会のパネラー高橋英悟さんには出張中でお目にかかれませんが、「風の電話」の佐々木さんや宝来館の女将さんにはお目にかかれました。去年は訪問日程が台風と重なり、「風の電話」は訪問できなかったのが私にとっては初めての訪問でした。あいにくの雨でしたが、ゆっくりとお話を聞くことができました。手作りの折り鶴けしゴムも喜んでいただきました。

釜石では釜石東中学校、鶴住居小学校、鶴住居幼稚園が隣接して高台に新校舎が完成し、4 月から授業を始めていました。私たちは新校舎を案内していただいた後、鶴住居小学校の 2 年生を対象に光るエコ消しゴム作り講座を行いました。みんな楽しそうに取り組んでくれ、たくさんの笑顔を受け取りました。中には私たちに抱きついてくる子どもたちもいました。小学校 2 年生というほとんどの生徒が仮設住宅での生活しか知らない年齢なんですよ。また、宝来館にも立ち寄り、津波に遭遇されながらも助かった元気な女将さんのお話をお聞きすることができました。ここも毎年訪問しています。



5 月に岐阜を訪問してくださり、本校へも立ち寄ってくださった大船渡市日頃市中学校の村上校長先生（震災当時は釜石東中学校・釜石の奇跡）にも会いに行きました。また、カンボジア支援のきっかけにもなった大船渡市の地元 NPO の佐藤さんも駆けつけてくださいました。

さらに気仙沼、南三陸と毎年訪問しているところですが、復興が進んでいるところ、まだまだ復興が進んでいないところ、さまざま、まだまだ忘れてはいけないことを再確認しました。

- ・ハンセン病療養所訪問（2 年生女子）

昨年度から始まったハンセン病支援活動、今年は岡山の邑久光明園との交流が始まりました。5 月に岐阜県社会福祉協議会の「里帰り」企画で、岐阜県出身の元ハンセン病患者さんたちが岐阜県へ里帰りされる時、本校へも立ち寄っていただきました。学校での企画は私たちに任せていただいたので、みんなで話し合いながら進めました。バリアフリーになっていない校舎での移動問題、後遺症が残っておられる方にも楽しんでいただける企画、他の科や部活動にも協力してもらいたいという思いなどひとつひとつ解決していきました。積極的に協力していただけたら、やんわりと断られたり、知らないふりをされたりと社会の縮図を見ているようでした。当日は思っていた以上に楽しんでいただけ、帰りのバスでは、窓を開け、身を乗り出して手を振ってくださいました。



また、8 月には私たちが邑久光明園を訪問することができました。今回は新幹線での訪問だったため、消しゴム作りの道具が運べなかったのが、企画に工夫がいました。療養所のある島から外出されることはほとんどないと伺ったので、「今の高校生がどんなことをやっているか」を紹介することをテーマとしました。高校生活をプレゼンしたり、スマホアプリのスノーを使って写真を変形してプリントしたり、きれいな模様ができるペーパークロマトを行ったり、スカイプで学校と繋ぎ、同行できなかった部員たちと交流したりしました。予定していた 2 時間半はすぐに過ぎてしまいました。終わると皆さんすぐに退席されました。車いすや杖について移動が大

変な方々もいそいそと退出されました。その時は少し寂しい気持ちでしたが、会場の外に出ると、私たちが乗って帰るタクシーの周りに皆さんが。「暑い夏などはほとんど家から出られません。」と聞いていたので、ありがたい気持ちと「無理しないでください。」という気持ちが……。そしてタクシーが見えなくなるまで手を振っていただきました。

・カンボジア支援活動（1年生男子）

9月からは連携している岐阜県ユネスコ協会からの紹介で『名古屋国際センター』、CIESF（カンボジアへの教育支援を行っている NGO）からの紹介で『名古屋環未来研究所』との連携も始まりました。カンボジア支援の次のテーマとして、「カンボジアの水環境の改善」です。部員の中には公害防止管理者水質の資格を取得している生徒もいるので、私たち工業高校の特色を活かした取り組みにしたいと思っています。予定では生物ろ過を利用した、カンボジアの現場で自分たちでできるシステムを目指しています。



2月18日には「NIC Global Youth Awaed 2017」（名古屋国際センター）に出場し、グランプリを受賞しました。また、2月24日には「ESD パスポート体験発表会」（岐阜県ユネスコ協会）に参加し、「ユネスコ協会 ESD パスポート・ボランティア活動認定証」を日本ユネスコ協会連盟から5人、岐阜県ユネスコ協会から5人授与されました。

これからも、私たちでもできること・私たちだからできること・続けることで『いやなみらいをけせるけしゴム』に近づきたいと思っています。